

昨年、山口県さくら浜に3万名を超える世界各国の仲間が集い、野外活動を通じて国際交流を図りました。区内からの派遣スカウトは1名でしたが、奉仕指導者は3名が参加しました。また、外国派遣スカウトは、日本の家庭でのホームステイによる国際交流を図り、友情を深めました。区内受入先の6家庭は、14名の外国スカウトとの2日間の交流活動を体験しました。

の沿道警備と交通誘導等の奉仕活動。そして最大の行事、野外体験を楽しむ夏のキャンプ生活は、山梨県(BS 山中野営場・静岡県(国立中央青少年交流の家・千葉県等々)で実施し、各年齢層に応じた3・5泊のキャンプを現地の環境を活かしたプログラムを作成し楽しむことができました。

野外活動が好きな人、是非ボーイスカウトに入りませんか。  
荒川区ボーイスカウト・ガールスカウト  
連絡協議会  
荒川第1団委員長 花島克夫



荒川第1団委員長 花島克夫



ミニ偶田川でどじょう・金魚つかみ



今年も大人気だったミニ偶田川のブース

青少年育成地区委員会連絡協議会が「川の手荒川まつり」で実施している「ミニ偶田川のブース」は、毎年大人気です。

今年も、汐入公園内にミニ偶田川を設置し、合計約千名ほどの子どもたちにとじょうと金魚のつかみ取りを楽しんでもらいました。

当日は、開始時間前からミニ偶田川の周辺を参加者の長い列が取り囲みました。いざつかみ取りが始まると、子どもたちの歓声が響き渡り、会場は大盛り上がり！動きが素早いどじょうと金魚に驚きながらも、自分の手でつかまえようと必死な姿が印象的でした。  
終盤は強風の影響を受けひやひやしましたが、用意したどじょうと金魚は全て参加者が持ち帰ることができました。  
青少年育成地区委員会連絡協議会

「あらかわの心」ニュース



「あらかわの心」推進運動シンボルマーク

第21号

平成28年10月5日発行

今号では、「あらかわの心」推進運動区民委員会のメンバーが行ったPR活動の様子と、参加団体の活動報告についてお届けします。



あらいみ ©荒川区2016年 (28-0016) あらかわ ©荒川区2016年 (28-0016)

川の手荒川まつりでPR活動

平成28年4月29日(金・祝)、汐入公園にて第30回川の手荒川まつりが開催されました。  
「あらかわの心」推進運動区民委員会では、今年も幹事会のメンバーによる「あらかわの心」PR活動を行いました。

PR活動を行いました。子どもたちに好評の寸劇「カルタ編」は、「あらかわの心」の5つの取り組みである〈あいさつ〉〈きまり〉〈思いやり〉〈体験〉〈見守り〉を表現した形式の寸劇ステージ上でクイズ形式の寸劇を披露し、「A君とBちゃん、どちらが良いごあいさつですか?」「ナレーターが問いかけると、「A君」と子どもたちが元気いっしょに答えてくれました。

寸劇の後は「あらかわの心」の内容が詰まった歌「荒川家の朝ごはん」を歌唱した他、取り組みが書かれた5つのハートマークを合体させ「あらかわの心」シンボルマークを表現しました。ブースでは、「あらかわの心」カルタを題材にしたクイズを実施しました。子どもたちをはじめ、多くの保護者の方々にも挑戦していただきました。また、

「あらかわの心」推進運動区民委員会からのお知らせ

出前説明会とPR寸劇の申し込みはこちらまで

「あらかわの心」推進運動区民委員会では普及・啓発のため、学校や諸団体へ出向き、出前説明会や寸劇などのPR活動を行っております。ご希望の方は事務局までご連絡ください。



第8回「あらかわの心」カルタ大会を開催します

平成29年2月に8回目を迎える「あらかわの心」カルタ大会を開催します。「あらかわの心」カルタで楽しく遊びましょう。入賞者にはメダルの授与があります。申し込みは、12月頃から受付予定です。詳しくは、区報等でお知らせします。



入賞者には表彰式で「あらかわの心」カルタ大会の刻印入りのメダルが授与されます



第7回カルタ大会の様子

日にち 平成29年2月4日(土)  
時間 午後1時~4時  
場所 町屋ふれあい館  
対象者 小学生とひらがなの読める未就学児(小学校に入学する前のお子さん)

大人が変われば子供も変わる ところの東京革命

ところの東京革命とは、親と大人が責任を持ち、次世代を担う子供の正義感や倫理観、思いやりの心を育み、自らが手本となりながら、人が生きていくうえで当然の心得を伝えていく取り組みです。  
東京都が推進する「ところの東京革命」を、荒川区独自の視点で捉え展開しているのが、「あらかわの心」推進運動です。

《おせっかいアンケートの回答内容》

- ・傘をさしながらの自転車運転を注意した
- ・道路などの危ない場所でボール遊びをしている子どもを注意した
- ・落し物をした人に声をかけた
- ・子どもをおんぶしていたら、見ず知らずの方が荷物を持ってくれた
- ・信号無視をした人に対して注意している人を見かけた

等 アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました



ハートマークが合体!



ブースも大盛況



親子でカルタクイズに挑戦中

# 被災者ミュージカル

## 「とびだす100通りの ありがとう」上映会

3月6日(日)、被災者ミュージカル「とびだす100通りのありがとう」上映会をムーブホールで行いました。このミュージカルは、3・11東日本大震災の被災者100名以上が出演するもので、ちよつと5年目となる機会に、大震災を忘れず、いざという時の防災意識の向上を目的に行いました。

来賓の方々からご挨拶をいただき、続いて諏訪台中学校防災部3名による活動報告や津波ギターのお披露目の後、上映会を行いました。

被災者ならではの貴重な体験談、一日も早く立ち直ろうとする姿勢、お世話になった世界中の皆様「ありがとう」と言いたいという気持ちが伝わってくる素晴らしいミュージカルでした。最後には満員の会場全体が感動の渦に包まれ、中には涙ぐむ人も見られました。大変意義のある活動となりました。



被災地の写真も紹介されました



想いが伝わる演奏でした

荒川区立小学校PTA連合会OB会

# 地域安全・ 環境浄化パトロール

青少年育成荒川区委員会補導部では、「環境浄化の日(20日)」に合わせて隔月にパトロールを行っています。

7月は20日(水)の夜、第四中学校を拠点として実施しました。

当日は同校で夕方から始まった「きもだめし大会」が終わった後、多数の地区委員やPTAの方々にご参加いただき、子の神コース・町屋コースの2班に分かれ、翌日から夏休みに入る子どもたちの安全を願いながらパトロールしました。



地域の安全を確認しながらパトロール中

青少年育成荒川区委員会  
補導部長 松尾眞人

# PTA正・副会長との懇談会

6月25日(土)、南千住区民事務所西部ひろば館において、青少年育成南千住地区委員会補導部主催による「PTA正・副会長との懇談会」が開催されました。

南千住ならびに汐入地区の全小学校(瑞光・第二瑞光・第三瑞光・第六瑞光・汐入・汐入東)と全中学校(第一・第三・南十住第二)のPTA正・副会長が一堂に会しました。また、南千住第二中学校の齊藤校長、第一中学校の伊藤副校長にもご参加いただき、和気藹々とした雰囲気の中、まずは自己紹介や学校活動の紹介を行いました。

続いて、「地域と学校との関わりについて」というテーマで、汐入東小学校の長谷川かほる校長にご講演いただきました。以前着任していた学校で千名以上の児童の名前を覚えてきたことや、町会の方から女性の校長で驚かれたこともありましたが、校長として頑張る姿を見ていただいたことで最終的には強い味方になってく



大勢の方にご参加いただきました

青少年育成南千住地区委員会  
補導部長 高田博志

# レインボー子ども会バスレク



大きなだけのこが  
取れました

レインボー子ども会 副会長  
(尾久第六小学校 五年) 清水千尋

4月10日(日)、千葉県大多喜町にて竹の子掘りを行いました。この活動は、東京都の子どもゆめ基金の対象事業として行いました。まず、竹の子の取り方や成長について、現地の係の方に教えてもらいました。竹の子が取りづらい場合などは係の方がやさしく教えてくれたので、みんなたくさん取ることができました。その後、竹の子を使ったお料理を作ってもらい、みんなでおいしく食べました。行き帰りのバスの中ではビンゴをしたり、自己紹介をしたりと楽しかったので、たいくつな時がありました。お天気も良かったので、くもりなどの時よりも何倍も楽しかったです。

# 今年もたくさん発見し チャレンジできたよ!

今年の「チャレンジ共和国」は、エンジョイコース・マスターコースの2コース合計で定員を超える214名の参加がありました。子どもたちにもあじわい「直接体験」をおとして「自主性」「創造性」を伸ばす機会を提供しました。異年齢による交流では、学校以外の仲間づくりが行われました。また、地域での自発的な活動の基礎づくりとなりました。

この事業は区と共催で毎年実施していますが、年々参加者が増えているという好状況です。運営に協力しているシニアリーダーにとっても、子どもたちの育成にかか

わることのできる有意義な経験となりました。  
荒川区少年団体指導者連絡会  
田中由子



大勢の仲間と一緒に活動しました



ポリシチって  
おいしいね!

# 荒川消防少年団 夏季野外活動を実施!

荒川消防少年団は、8月6日(土)〜7日(日)の2日間で茨城県行方市の「白浜少年自然の家」において夏季野外活動を実施しました。清らかな空気や水に恵まれたのびのびとした環境で、礼儀正しくするなどの消防少年団「七つのちかひ」を守り、集団生活のルールを身に付けるなど多くのことを学びました。給食訓練も火の取り扱い訓練として、自分たちで火起こしするところから行い、協力

し合いながら楽しくいただくことができました。また、実際に自然の中でロープを使った結索訓練も行い、普段の活動ではできない様々な体験を元気づけに楽しんでいました。



白浜に到着し記念撮影



火起こし体験中

荒川消防少年団 団長  
寺島 稔